

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2739	ロイヤルライフ奥沢	(株)菱栄ライフサービス	H27.12.30
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	非	非	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	A	A
1.4.1	A	B	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非	非	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	A
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-3-1	要介護者に対する職員配置は、要介護者1名に対して介護・看護職員合計が1名の配置と手厚くなっている。また、介護職員のケアは、業務連絡会やケア向上ミーティング等で専門性を強化することにより、介護度が高くなりつつある通常のケアはもとより、最近増加している専門性を必要とする新規入居ケースへの介護にも対応できるものとなっている。
2-3-3	個別対応を必要とする入居者の増加に伴い、従来、介護に携わっていなかった部門も含めて、職員全員でこの変化に対応するべく、組織変更と職員一人ひとりの意識改革に取り組んでいる。さらに、他職種が参加するケア向上ミーティング、食堂サービス向上委員会、医療サービス向上委員会等の委員会を活用して、サービスの質向上に努めている。
6-3-2	認知症の入居者への対応については、各部署から職員が参加する認知症委員会を発足して毎月開催する他、新たに精神科の専門医と連携を始め、認知症サポーターを全職員が受講するなどの取り組みを組織的に行っている。具体的な事例を検討し、専門的な助言を得て、職員が対応することで、認知症の入居者の症状が改善された事例もある。認知症予防にもつながる介護を提供するなど、職員の認知症対応技術は向上している。
7-1-1	内科・外科・整形外科などの診療科をもつ協力病院はホームに隣接しており、年1回の人間ドッグ・定期健康診断を実施する他、看護師不在の夜勤帯には、病院の看護師が巡回している。また、病院とは館内でつながっており、受診直前まで居室で過ごし、体調の悪い時は2階を経由して、直接通院することもできる。夜間を含め急変時は連携を図るなど入居者にとって安心安全な体制が整っている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-1	「サービス宣言」を企業の基本理念として、玄関に掲示し、ホームページで公開する等、内外に宣言している。「サービス宣言」では、入居者の尊厳への配慮や法令遵守についても文中に含まれているが、一方で、より具体的な遵法を記述した「自主行動基準」も定められており、透明性を確保するためにも、企業の経営姿勢として合わせて公表されることが望まれる。
1-4-1	目標管理制度により、会社目標、係目標、個人目標をそれぞれ定め、取り組むべき課題を明確にしている。その内容も職務分掌で明文化されて、上司との面接によって確認できる仕組みとなっている。しかしながら、個人別育成計画は、職階ごとの到達レベルを明示しておらず、今後は、個人別研修履歴等を基準として、個人の育成レベルを決定していく取り組みが期待される。
2-4-2	業務マニュアル・緊急対応マニュアルは、項目ごとにインデックスにより区分され、必要時取り出しやすいよう整備されている。一方で、マニュアル更新についてのルールはなく、作成記録や更新記録がないマニュアルもファイルされている。定期的な更新ルールの策定と、作成記録・更新記録の表示を行い、より使いやすいマニュアルへ機能向上が望まれる。
7-3-1	入浴は、一人ひとりの心身状況に合わせて行っており、自立の入居者は、居室内の個浴や5階の大浴場を、介護を必要とする入居者は、機械浴室とリフト式浴槽のある中間浴室を使用している。また、必要に応じて、清拭やシャワー浴などの代替も行っている。大浴場は21時頃まで入れるようになっており、今後は、入居者の要望に応えた所定時間外の入浴のさらなる充実が期待される。